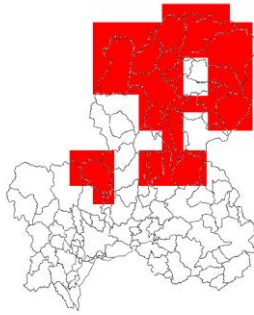


|              |   |  |
|--------------|---|--|
| ミヤマアオイ       | <i>Asarum fauriei</i> Franch. var. <i>nakaianum</i> (F.Maek.) Ohwi ex T.Sugaw.          | 絶滅危惧Ⅱ類   |
| (環境省:絶滅危惧Ⅱ類) |   | ウマノスズクサ科   |
| 選定理由         | 生育地、個体数ともに非常に減少している。  | 写真(岐阜大学教育学部標本室)  |
| 形態の特徴        | 葉は円形で比較的厚く、長さ3-7cm、幅3-6cm。萼筒は濃紫色または褐色で、先端に向かって広がり、長さ4-7mm、幅7-11mm。縦隆起線は12-21本。根茎を長く伸ばす。 |  |
| 生態的特徴        | 落葉樹林の下に生育する。花期は4-7月。  |  |
| 分布状況         | 本州中央部(長野県, 岐阜県, 富山県)の落葉広葉樹林に分布する。日本固有種。岐阜県では、主に県北の標高800-1600mの山地に分布する。                  |  |
| 減少要因         | 開発や森林伐採による生育地の破壊と、山草愛好家による採取。   |  |
| 保全対策         | 生育地の保全と採取の禁止。   |  |
| 特記事項         |   |  |
| 参考文献         |   |  |

文責: 高橋弘